

平成 29 年 5 月 8 日

滄溟会関東支部 会員各位

滄溟会関東支部 支部長 濱崎信郎  
事務局長 厚田敏宏  
副支部長 田中敏夫  
副支部長 坂部修一 (Z27)  
副支部長 相原正則 (K30)  
副支部長 坂本直彦 (K49)



### 昨年の総会混乱のお詫びと過去の決算報告の精査に関する説明

第 38 回滄溟会関東支部総会のご案内を差し上げるにあたり、前回、第 37 回総会で会議運営の不利によりご参加いただいた会員各位に多大なるご迷惑と、不快な思いをおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

昨年度、会議が混乱する原因となりました過去の決算報告についての不備の指摘に関して、その対応結果を今年度の総会で説明させていただきますが、総会に出席できない会員も各位にも情報を正しく伝える必要があると判断し、本文を同封させていただきました。長文になり恐縮ですが、下記状況をご理解の上、来る 6 月 24 日の総会には多数の会員の皆様の参加をお待ちしています。

なお、本文の内容に異議のある方は同封の出欠回答（委任状）の余白にその旨を記載いただき、特に記載のない方については内容をご納得いただいたものとさせていただきます、よろしくご理解のほどお願いいたします。

#### 1. 経緯

滄溟会関東支部では第 32 期（平成 23 年 6 月 1 日～平成 24 年 5 月 31 日）より、特別会計枠支援事業として、東北震災災害支援、下関カッター支援を行ってきました。この事業は昨年度の第 36 期まで 5 年間にわたり継続されてきましたが、昨年、「滄溟会改革有志の会」（連絡窓口 竹谷 直氏 (K22)）より、下関カッター支援に関して、経費の支出が不透明である、また正確な領収証との整合ができていないと指摘を受けましたので、改めて経費を精査しました。

#### 2. 経費支出が不透明と指摘された背景

下関カッター支援については 支部総会において 特別会計枠として各期の予算化と決算の承認をいただいています。

更に、下関カッター支援には支部会計とは別にカッター部 OB 等からも寄付金を募りました（平成 24 年～27 年）。その際、寄付金の受け入れに滄溟会関東支部当座を使用しましたが、払込票（赤色）には「下関カッター協賛金」と明記して支部会費払込票とは分別し、通帳も関東支部ゆうちょ口座通帳と異なる、三井住友総合口座（協賛用）で支部会費が混ざらないよう管理いたしました。本来であれば、当座口座は新たにカッター部 OB 会用のもの

を開設するべきでしたが、新規口座開設に手間がかかることから、既存の関東支部当座口座を使ったものです。

また、当座預金から Cutter-OB 協賛専用口座への入金に際し、振込手数料削減のため、当座から直接振り込みを行わず、いったん現金で引き出し厚田事務局長の個人口座（三井住友）に入れたうえで Cutter-OB 専用口座へ安い手数料で移しました。

この手続きについて、振込料がかかっても履歴が残るよう当座口座から直接、専用口座へ振り込みを行うべきでしたが、関東支部の当座口座使用と合わせて、入出金の流れが外から見えにくくなり、上記の指摘につながる原因となりました。

### 3. 領収証等の精査の結果

特別会計枠の下関 Cutter-支援の支出に関して、領収証等すべての支出を証明する帳票等を精査した結果、下記の通り決算書に記載された金額に対して、通期で 3,206 円の差異がありました。各期の差異の原因は、通常事業費と特別会計分の仕分け間違い、計上期の間違いによるものです。

また、35 期の領収証の中に Cutter-部 OB への通信費 57,216 円と、一部、関東支部口座経由で Cutter-協賛金を専用口座に振り込んだときの振込料 864 円（本来 Cutter-部 OB 会が負担すべき経費）、松生義勝先生顕彰 本部理事会提議資料としてのアンケート作成ための通信費 108,320 円（特別枠として支部総会で承認済みであるが Cutter-支援ではなく、本来調査費目に扱われるべき費用）が含まれていました。

	決算書 記載額	領収証 確認額	差異	濱崎支部長 立替精算額	領収証との 差異
32 期 (H24 年)	604,147 円	632,649 円	28,502 円	632,769 円	120 円
33 期 (H25 年)	189,948 円	164,635 円	△25,313 円	164,135 円	△500 円
34 期 (H26 年)	392,645 円	421,151 円	28,506 円	392,645 円	△28,506 円
35 期 (H27 年)	381,580 円	346,679 円	△34,901 円	348,318 円	1,639 円
36 期 (H28 年)	69,209 円	69,209 円	0 円	69,209 円	0 円
合計	1,637,529 円	1,634,323 円	△3,206 円	1,607,07 円	△27,247 円

### 4. 決算書の訂正について

35 期の金額に含まれる、Cutter-部 OB 会が負担すべき通信費 57,216 円と、OB の協賛金を関東支部経由で専用口座に振り込んだ際の振込手数料 864 円は、平成 28 年 12 月 27 日に Cutter-OB 会から滄溟会関東支部に入金されました。また、松生先生アンケート調査で滄溟会関東支部の特別会計の中から支出した通信費 108,320 円は、松生義勝先生顕彰委員会が補填することになり、平成 29 年 1 月 16 日に入金されました。

当初は各期の決算書の修正を考えましたが、支部の資金全体については、決算報告書に記載された期首、期末の残高は、各期とも銀行預金口座と合っており用途不明の金額が外部に出た事実は有りません。また、下関 Cutter-支援について、Cutter-支援以外で支出された金額は今期で入金されていることから、あえて遡って過去の決算書の修正は行わず、通期の差額分のみ今期の決算書で訂正を行うように致します。

## 5. 立て替え払い精算の覚えとして作成された手書き領収証について

上記の特別会計枠下関カッター支援及び松生義勝先生調査関連の経費支出は、全て濱崎支部長が立て替え払いをしたものを、後日精算で、滄溟会関東支部から支払いを行いました。経費の精算は18回行われ、その内6回は現金での支払いであったため、濱崎支部長が現金を受け取った証として、手書きで領収証を発行していましたが、これが架空の領収証では無いかとの指摘もありましたので精査しました。

結論として上記表の左2列の通り、每期若干の差異が生じている事実ではありますが、いずれも領収証の見落とし、金額記載ミスに由来するものです。また、手書き領収証の金額に相当する出金を証明する帳票がすべて揃っていることを確認しています。

## 6. 結論

過去5年に遡って決算書報告書を精査した結果、上記の通り各期で仕分けミス、目的外の出金の事実が認められました。ただし、意図的に不正を行ったものではなく、現在の滄溟会の運営体制を考えたとき起こりうる間違いの範囲であると考えます。

勿論、会員各位及び協賛企業から頂いた貴重な資金を管理する立場として、間違いは許されないことであり、今回、改めて資金管理状況を見直す貴重な提言をいただいた「改革有志の会」の連絡窓口である竹谷直氏（K22）には、感謝申し上げますとともに、役員一同深く反省の上、今後の資金管理方法を改めます。

具体的には、過去5年間にわたり実施した特別枠事業の差異を反映させた平成28年度決算報告書を作成し、来る6月24日の滄溟会関東支部総会で説明致します。

また、決算書類の連続性を重視して今年度総会までは過去と同様形式で決算報告を行いますが、次年度以降は会計報告の方法を改め、収支決算書に加えて、貸借対照表および財産目録を作成し資金の管理状態をより透明で分かりやすいものに致します。

## 7. 補足

なお、今期末を持って支部役員の任期満了になります。次回総会で新役員の承認をお願いする予定ですが、新役員の候補についても連絡いたします。

役 職	現 役 員	新役員候補
支部長	濱崎信郎 (Z15)	田中敏夫 (Z24)
事務局長兼副支部長	厚田敏宏 (K17)	境 文生 (K24)
副支部長	坂部修一 (Z27)	土橋 猛 (G39)
副支部長	田中敏夫 (Z24)	侯 光華 (Z48)
副支部長	相原正則 (K30)	坂本直彦 (K49)
副支部長	坂本直彦 (K49)	

引き続き、今後の支部運営にご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上

年度別 支部決算報告書 推移表

決算期		2011	2012	2013	2014	2015	2016
		平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
決算期		31期	32期	33期	34期	35期	36期
前期繰越金		11,731,747	11,911,588	11,195,088	10,609,068	9,755,523	8,929,871
収入の部	支部会費・寄付	261,800	441,933	178,000	247,000	184,000	448,143
	事業費収入 (DVD販売)	650,000	330,000	330,000		443,700	7,000
	前期支部繰越金算余剰金	272,393	43,578		159,723		
	利息	8,675	3,378	1,672			
	支部繰越金広告収入前受	120,000	216,000	150,000	270,000	190,000	
	特別会計預り金		150,133	143,133	143,133	131,680	31,680
	収入合計		1,165,022	805,805	821,856	848,380	488,823
支出の部	前期支部繰越金費用清算 (追加支出)			81,036		90,228	75,039
	支部繰越金費用仮払金	310,000	120,000	140,000	270,000	190,000	190,000
	事務費 (スタッフ費他)	380,630	82,545	381,400	380,000	302,172	648
	HP使用料金	3,270	3,150				
	DVD作成費	165,630	99,000	99,000	165,000	105,600	118,650
	横浜カッターレース支援	84,000	126,000	120,000	118,980	98,000	0
	練習船慰問		23,250				
	金日本カッター支援					38,458	20,000
	富古水産高校招待支援				200,000		
	人材バンク補填					37,137	
	宛名黒別シール						5,808
	乗取DVD					20,000	163,937
	総会事務費 (印刷代、郵送料)	2,500	251,428	118,538		70,859	11,240
	山口新聞		31,500				
	会費・恩顧会費	14,103	69,870	180,250	28,678	5,000	10,180
	代議員会交遊費	105,000	108,510	70,000	105,000	105,000	105,000
	その他交遊費	77,730	7,352	30,000	4,120	35,000	
	祝電等	20,184		1,575	35,000		
	通常事業費小計			1,201,857	1,282,789	1,093,452	705,451
	災害支援		300,000			194,770	
	下関カッター支援 ①		604,147	189,948	392,645	381,580	69,209
	人材バンク		84,770			105,230	
	特別幹事費小計	0	688,917	189,948	392,645	681,580	69,209
	支出合計	1,143,047	1,901,522	1,391,805	1,675,401	1,778,032	774,660
当期残高		11,911,589	11,195,089	10,609,088	9,755,523	8,929,871	8,642,094

		31期	32期	33期	34期	35期	36期	累計
下関カッター支援に関して一般会計との仕分け違い	決算書に記載された下関カッター支援の金額 ①		604,147	189,948	392,645	381,580	69,209	1,634,529
	特別会計として領収証が確認できた金額 ②		632,649	184,635	421,151	348,679	69,209	1,634,323
	差異 ①-② (下関カッター支援に関して一般会計との仕分け違い)		28,502	-25,313	-28,506	-34,901	0	-3,206

立替清算金と領収証の差額	特別会計として領収証が確認できた金額 ②	632,649	184,635	421,151	348,679	69,209	1,634,323
	立替支部長の立替清算額 ③	632,789	184,135	392,645	348,318	69,209	1,607,076
	領収証との差額 ②-③	120	-500	-28,506	1,361	0	-27,247

下関カッター支援以外の経費	35期 下関カッター支援にカッター協会への通信費が入っていた					57,216	平成26年12月26日カッター協会から入金済
	35期 下関カッター支援にカッター協会への預り込み手数料が入っていた					884	平成28年12月27日カッター協会から入金済
	35期 下関カッター支援に松生先生アンケート調査への通信費が入っていた					108,320	平成26年1月16日松生先生アンケート委員会から入金済